

【大会概要：6/17 時点】 ※内容は変更になることがあります

第14回 雨水ネットワーク全国大会 in すみだ

「雨」を活かして、未来へつなごう

開催趣旨

2008年に発足した『雨水ネットワーク』は、雨水活用や雨を主とした水循環系の健全化等に関わる市民・企業・行政・学会等が形成する“緩やかな情報のプラットフォーム”として、全国各地及びオンラインでこれまでに13回の全国大会を開催してきました。

今大会の開催地となる東京都墨田区では、1994年8月に日本で初めての雨水利用をテーマとした国際会議が行われました。それから30年を経て、私たちは地球規模の急激な気候変動に直面しています。今後、これまでに人類が経験したことがない豪雨や干ばつ、高温にさらされる地域も出てくると予想される中、もう一度私たちの暮らしと雨の関係を見つめ直し、今後の30年そしてさらなる未来に向かって、産官学民、みんなの知恵を集めて、着実に楽しく行動しながら歩みを進めていきたいと考えています。

気候変動、多発する自然災害、インフラの老朽化といった水を取り巻く課題解決に取り組み、グリーンインフラなどの自然環境を活かした基盤整備を取り入れながら、さらに生物多様性の保全やネイチャーポジティブといった持続可能な希望ある未来につなげていく、これは我々にとって非常に大きな試みです。本大会が、誰にも等しく降る「雨」を入口に、市民・企業・行政・学会が一体となって、未来に向けた行動に踏み出す契機になればと思います。

日々の暮らしを支える水についてもっと知りたいと感じている方、雨と暮らしの関係を新しい視点で見直したい方、どうぞ奮ってご参加ください。

開催日時：2024年8月3日（土）、4日（日） ※8月1日より展示等、当日参加プログラムあり

場所：墨田区役所リバーサイドホール 及び周辺

参加費：無料 ※ホールプログラムについて資料の有料頒布を予定

参加登録：ホールプログラム、エクスカージョンは事前登録制、その他企画は申し込み不要

主催：雨水ネットワーク全国大会 in すみだ実行委員会、墨田区

（実行委員会構成団体：雨水市民の会、雨水貯留浸透技術協会、千葉大学、中央大学、寺島・玉ノ井まちづくり協議会）

後援申請予定：国土交通省、環境省、東京都

左：ウェブサイト（随時情報更新）<https://www.rain-net.jp/z-taikai.html>

右：登録フォーム <https://forms.gle/hJHjsAeAa6saPJhx9>



プログラム（敬称略）

【事前登録プログラム】

8/3（土）	内容			
10:00-12:00	開会式 全体司会：菜原航（墨田区資源環境部環境政策課）			
	オープニングムービー（雨水市民の会を主とした活動紹介・5分）			
10:05	大会会長挨拶：山本享（墨田区長） 来賓挨拶：後援元ほか調整			
10:15	セッションⅠ「すみだの雨水～（副題検討中）」 コーディネーター：菜原航（墨田区環境政策課） 講演：村瀬誠（元墨田区職員、天水研究所） ディスカッション：村瀬誠、佐原滋元（一寺言問を防災のまちにする会）、岩下弘之（墨田区資源環境部長）、木下剛（千葉大学大学院園芸学研究院）、高橋朝子（雨水市民の会）			
12:00-13:30	休憩			
13:30-	セッションⅡ分科会「雨水とわたしたちの未来」 趣旨説明 当日進行：山本耕平（大会実行委員長、雨水市民の会） 全体の趣旨（案）：1994 雨水利用宣言から 30 年、雨水とわたしたちの未来とは？ 「※」はコーディネーター、話題提供者は予定（敬称略、50音順）			
14:00 移動時間含む 適宜休憩	1) 雨とネイチャーポ ジティブ：雨水を活用 した都市緑化の可能性 ー 立体的緑地と平面的 緑地による生物多様性 の回復 ※霜田亮祐（千葉大学大 学院園芸学研究院） 話題提供： ・牛久光次（寺島・玉ノ井 まちづくり協議会） ・角屋ゆず（（一財）世田 谷トラストまちづくり） ・竹内智子（千葉大学大学 院園芸学研究院） ・向山雅之（竹中工務店） ・山中 淳一（墨田区環境保 全課）	2) ゼロメートル地 帯から考える雨と防 災 ※菜原航（墨田区環境 政策課） 話題提供： ・佐原滋元（一寺言問 を防災のまちにする 会） ・三橋さゆり（（一 財）日本建設情報総合 センター） ・阿部京（東京都下水 道局計画調整部再構 築・浸水対策推進担当 課長） ・墨田区防災課	3) 暮らしの中の雨 水～見える、楽し む、活かす ※笹川みちる（雨水市 民の会） 話題提供： ・金谷直政（京島地区ま ちづくり協議会、かなや 設計） ・木下剛（千葉大学大学 院園芸学研究院） ・建設技術研究所 RiskMa 担当者 ・大川原 雄一郎（東京 都都市整備局 都市基盤 部 調整課統括課長代理 （施設計画担当）） ほか	4) 飲む雨水～イン フラとヒトの変化か ら考える飲むあまみ ずの近未来 ※山村寛（中央大学人 間総合理工学科） 話題提供： ・石山民子（アジア砒素 ネットワーク） ・小熊久美子（東京大 学） ・鎌田芳久（(有)鎌田工 業所、あまみず水道屋） ・前田瑠介（WOTA 株式 会社） ほか
16:00-	分科会まとめ 進行：山本耕平（大会実行委員長、雨水市民の会） コーディネーターによる総括、フロアを交えた QA			
17:00	翌日のプログラム、交流会案内等			
18:00-20:00	交流会 （すみだリバーサイドホール・会費制 5,000 円） ・出張「雨水バー」 協力：アクアサポーターズ ・各地からの水循環・雨水活動報告動画上映 ほか、プログラム検討中			

8/4 (日)			
10:00-12:30	セッションIII「雨水は地球を救うか？」 全体司会：笹川（雨水市民の会）		
	第1日振り返り ・セッションI「すみだの雨水」報告：菜原（墨田区） ・セッションII「分科会・雨水とわたしたちの未来」報告：笹川（雨水市民の会）		
10:15-	特別講演「雨の恵みと災い—わたしたちの都合」 沖大幹（水文学者、東京大学 教授）		
11:00-	パネルディスカッション「雨水、文化、都市の未来を語る」 コーディネーター：橋本淳司（水ジャーナリスト、アクアスフィア・水教育研究所） パネリスト（敬称略）： ・沖大幹 ・長谷部愛（東京造形大学 非常勤講師） ・石井秀幸（ランドスケープアーキテクト、スタジオテラ） ・尾崎昂嗣（代表社員、R&U・レゾリューションズ）		
12:15	閉会式：雨水東京 2024 宣言（山本耕平大会実行委員長、雨水市民の会） 午後のプログラム案内		
12:30	終了・解散		
14:00-16:30 頃	オプション：エクスカージョン（定員各 20 名程度）、終了後現地解散		
※移動開始・終了時間はコースにより調整	A. たもんじ交流農園と多聞寺：都市の中の緑化と水循環を知り、活動の担い手と交流する 協力：多聞寺、寺島・玉ノ井まちづくり協議会、橋本淳司（水ジャーナリスト）	B. 両国ポンプ所と両国国技館周辺：大規模雨水利用の始まりと雨水排水の現場を訪ねる 協力：東京都下水道局 ※雨天時は見学時間、ルートが変更になる可能性があります	C. 東京ソラマチ・スカイツリー：墨田区最大の雨水活用スポットを訪ね、環境配慮の取り組みを見学する 協力：東武タウンソラマチ株式会社

【当日参加プログラム:あまみずフェスティバル】※詳細はウェブサイトで随時告知します

※実施時間：10:00-17:00 (8/4 は 16:00)

会場	8/1 (木)	8/2 (金)	8/3 (土)	8/4 (日)
アトリウム	<ul style="list-style-type: none"> 関係者ブース：RNJ 全国メンバーへの展示呼びかけ、千葉大学大学院園芸学研究所ランドスケープ学コース演習成果展示 他 企業・団体ブース：協賛団体など雨水関連企業の取り組み紹介 自治体枠（墨田区コーディネート）：群馬県みどり市、荒川下流河川事務所（荒川放水路通水 100 年）他 			
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> 雨のしずくモビール：事前制作+当日自由参加 協力：墨田区内児童館、保育園 災害対応リヤカー型移動図書館「北斎丸」：雨・水の絵本紹介、紙芝居上演も検討 協力：すみだ新製品開発プロジェクト、芝浦工業大学、雨水市民の会（書籍貸与、選書） 江東 5 区段ボールジオラマ展示：2023 年ユートリヤでの防災 WS 成果品 協力：JT「Rethink PROJECT」https://www.bosai-diorama.or.jp/2023/08/02/sumida/ （調整中）雨の浮世絵展示 協力：すみだ北斎美術館 			
会議室 8/1 は 13 時から	雨つぶぐるぐるすごろく大型版体験 時間制 担当：雨水市民の会			
ミニシアター	<ul style="list-style-type: none"> 雨と水の動画上映：行政関係他、無料コンテンツをループ上映 雨水ネットワーク全国メンバーによる活動紹介動画上映（呼びかけ） 			
うるおい広場	雨水縁日（射的、スーパーボールすくい等）	雨水縁日 打ち水	キッチンカー 他、ブース出展等調整中	
向島・京島地域	すみだ雨水まちあるき（セルフ） ：マップとウェブサイトを見ながら、雨水活用スポット（路地尊、天水尊、雨どいプランター等）を巡る 朝の「雨カフェ」 （8/4（日）のみ 8:00～）：雨水市民の会事務所（向島 5-49-3 鳩の街通り商店街）にて。朝のまちあるきの際にお立ち寄りください 担当：雨水市民の会 協力：すみだまちづくり公社、京島地区まちづくり協議会			

開催地すみだの雨水活用

東京東部低地のゼロメートル地帯に位置する東京都墨田区は、頻発した都市型水害の解決策として、全国に先駆けて雨水活用に取り組み、助成制度の創設や条例・要綱などの整備を行ってきた自治体です。また近年では、2014年の「雨水の利用の推進に関する法律」、2021年の「流域治水関連法」、2023年の「グリーンインフラ推進戦略2023」等、国レベルでも雨水活用を治水、防災、気候変動適応対策、SDGs等の多様な分野に導入し、市民・企業・行政・学会など様々なセクターでの取り組みを推進しています。

墨田区においても「SDGs 未来都市」への選定、「すみだゼロカーボンシティ 2050 宣言」といった施策を打ち出し、各種環境施策を推進していますが、その中でも雨水活用はSDGsの目標達成及び資源の有効利用や省エネルギーでの水供給につながる貴重な取り組みとして重要な施策の柱となっています。

市民レベルでも墨田区を拠点とした雨水市民の会（1995年発足、2006年NPO法人化）が約30年に渡り、雨水活用及び水循環に関わる調査、研究、実践ならびに市民への普及活動を行っており、2022年からはグリーンインフラを取り入れた小規模雨水管理を広げ、検証する「下町×雨・みどりプロジェクト」に取り組んでいます。

ゼロメートル地帯墨田区からの発信により、日本の都市、ひいてはアジアの都市の気候変動へのレジリエンスを高めることをめざします。

以上